Higashi's Health



令和元年 11 月 18 日 春日井東高校(保健室)

風邪やインフルエンザ・胃腸風邪などが流行しやすい季節となりました。 保健室も連日、のどの痛みや鼻汁、頭痛、腹痛、倦怠感などで来室してい る生徒が増えています。

1年生保健委員は、先生方に感染症予防方法についてインタビューしてきました。内容を参考にして、予防・対策に心がけましょう!



緑茶でうがい 好きなものを食べて、好きなものを飲む

男子保健委員▶岡田 知士先生

体育時、授業の前にしっかり手洗い、 うがいを心がけている



女子保健委員▶金 智紘先生

手洗い・うがい(10秒×3回) 緑黄色野菜を食べる

男子保健委員▶鈴木 杏奈先生

緑茶でうがいをする





男子保健委員▶松本 匡登先生

元気に過ごすように心がける

女子保健委員▶伊藤 絵美理先生

手洗い・うがい

(病は気から!)

自分の体調を把握して、 体調が良くないと思った時には、 すぐに休息をとる

> 髪をしっかり乾かして 早めに希団に入ろう

女子保健委員▶苅谷 真理子先生

授業後に手洗い・うがいをする 緑茶でうがいをする たくさん食べる、体力をつける

男子保健委員▶馬場 健輔先生

手洗い、うがい



男子保健委員▶佐野 透先生

はちみつをかけたヨーグルトを食べる 予防接種を受ける 水分補給、手洗い・うがい

女子保健委員▶福島 健太郎先生

手洗い・うがい!疲れた時には栄養ドリンク! しっかり眠ると朝スッキリする 疲れすぎないようにする



そのほかのアドバイス!









厚着をする前に、下着を1枚 着てみましょう。暖かさが違い ます。



人混みは避けよう



インフルエンザの予防接種が始まっています!

インフルエンザの予防接種は、特に重症化防止に有効であることが認められています。 予防接種を受けてから、インフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、 この効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。

より効果的に有効性を高めるためにも、早めの接種をお勧めします。

相手の気持ちになって考えてみよう ③ 一



深く考えずに言ったことばが、大きな力で誰かの心を傷つけることがあります。「えー、あれくらいでー」「ほんの冗談なのに」。もし、そうだったとしても、誰かを傷つけたなら、そのことばの責任は言った人にあります。



自分が言われたらどんな気持ちになるかな? みんなが相手の気持ちを想像して 話せるようになったら、こんなことばが増えていくかもしれません。



ことばには、誰かの心をあたためたり、元気にしたりする大きな力もあるのですね



誰かが掃除してくれるから、学校のトイレも、家庭のトイレも使うことができるのです。トイレ掃除をしてくれる人に『感謝』できる人でありたいですね。



汚してしまったら、 ペーパーでサッと ふき取っておきましょう。 次の人も 気持ちよく使えるように・・

